

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

Vision（目指す姿）

真心のこもったサービスでお客さま一人ひとりのニーズに応えつづけるベスト・パートナー

預り資産
10兆円ROE
8%総還元性向
50%

② 中長期の経営戦略

1. One to One マーケティング…

岡三BANK及び岡三UBSファンドラップ提供開始。お客さまの資産全体を捉えたトータルコンサルティング推進でコア資産含む預り資産残高及びストック型収益拡大を図る

3. コーポレートブランディングの進化

バリューとして矜持・情熱・共創を設定。経営理念の社内浸透図りグループ一丸で成長戦略遂行

2. プラットフォームの高度化

岡三情報システムと岡三ビジネスサービスを経営統合し2025年4月より岡三ビジネス&テクノロジーとして始動。グループ内外にプラットフォーム提供で共存共栄を志向

4. 証券プラットフォーム事業開始

金融商品仲介業者への転換支援。自前主義にこだわらずグループ内外リソース活用で独自ネットワークによる取り組み進行

③ 対処すべき課題

① 地政学リスク対応

- ・グローバル化等戦後パラダイム揺らぐ中での確かな経営基盤確立

② 顧客体験価値向上

- ・不確実性高まる中での投資家への的確で信頼性高いアドバイス提供
- ・多様化する投資家ニーズへ真摯に寄り添いサポート
- ・CX向上のための改革加速

③ 組織体制改革

- ・地域密着型経営徹底のため各証券カンパニーへの権限委譲・分権化推進
- ・従業員体験価値（EX）向上で新人事制度を2025年4月導入

面接で使えるポイント

- ・2023年度初年度の5ヵ年中期経営計画で預り資産10兆円・ROE8%を目指す成長戦略を推進中
- ・岡三BANK・岡三UBSファンドラップ等新サービス提供開始でトータルコンサルティング強化
- ・矜持・情熱・共創の3つのバリュー下で次の100年も成長つづける経営基盤確立を目指す

証券コード 8609

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
金融商品取引業を中核事業とする証券会社

主力事業・セグメント

・証券、商品先物取引業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・営業利益率81.9%と高い収益性

・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
229億円営業利益率
81.9%財務健康度
21点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 54.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,128万円

証券、商品先物取引業内 9位/36社

平均年齢

45.0歳

証券、商品先物取引業内 11位/36社

平均勤続

14.0年

証券、商品先物取引業内 11位/36社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

参考: (株)岡三証券グループ【8609】：決算情報

